

| 学校運営計画 ( 4月 )   |  |   | 評価(3月) |          |
|---|--|---|--------|----------|
| 学校運営方針  | 次代を担う人間として、徳育・知育・体育の調和を図り、豊かな人格を涵養するとともに、自ら学び、個性を伸ばし、心身ともにたくましく、社会の発展に寄与する人間を育成する。 |   |        |          |
| 昨年度の成果と課題   | 年度重点目標   | 具体的目標   |        |          |
| 伝統校としての学校づくりを進めるための土台であった「春日きらめき計画」は、国公立大学合格者数の増加などの成果をもたらしたが、一方で生徒の主体的な学習や自主的な活動に課題を感じる場面も増加している。「させられる」学校生活から「する」学校生活へと生徒の意識変革を図る必要がある。そのためには、教職員の意識変革、学校組織の再編と教育課程の見直し等が急務である。そこで今年度のキーワードを「自主性の育成」と定め、その実現のために新しく「新きらめき計画」を策定、実践する。 | 「春日高校五常」をおとして、人としての在り方・生き方など豊かな人間性を育ませる。   | 教師の率先垂範による「笑顔、挨拶、時間厳守、清掃活動など」凡事徹底を図る。<br>教育活動全般を通じて「自主的に取り組もうとする意欲やリーダーシップ、チームワーク、コミュニケーション能力」などの資質・能力を育ませる。  |        |          |
|   | 学ぶ意義について考えさせるなど、自主性を重んじながら「授業心得五行」を徹底し、学力の向上・深化を図る。                                | 積極的な生徒観察により生徒理解を深め、強い信頼関係を築くとともに、いじめ撲滅や生徒のつまづきへの早期対応等に努める。<br>アクティブラーニング等の学習指導法について、研究・研修を深め実践し、生徒の能動的な学習態度を育む。   |        |          |
|   | 部活動や学校行事の充実・活性化を図る。  | 教職員の組織力を活用し、進路実現に向けた積極的な個別指導を行う。<br>日々の清掃活動を通して、美化意識を高揚させる。   |        |          |
|   | 多様な人やものの考え方への理解を深めさせ、仲間とともに積極的に協働する態度を育ませる。  | 様々なメディアを通して、これまで以上の積極的な広報活動に努める。<br>分掌の年間目標について中間時点等で評価し、必要に応じて修正・改善を加えながら、学校経営計画の実現を図る。<br>地域との連携を意識・実践し、さらなる信頼関係の構築に努める。  |        |          |
| 評価項目  | 具体的目標  | 具体的方策   | 評価(3月) | 次年度の主な課題 |
| 教務課   | 教室内の教育環境を整備し、生徒の状況にあった教育課程、授業の年間実施予定時間数の調整を図り、学習指導の充実を支援する。                        | 習熟度別講座や選択授業使用講義室の割振り、年休出張や行事に伴う時間割変更時に適切に対応する。<br>生徒の希望進路や学習状況に則した教育課程・教務規程・教務内規・追試制度の導入等を検討する。<br>同一類型・科目において、考査までの実施授業時数の偏りが出ないように、年間の授業振替表を作成する。   |        |          |
|   | 生徒が意欲的・自主的に学習に取り組み、学力を向上させるための指導の充実を図る。  | 時間割作成や成績処理システムがスムーズに運用できるように、情報管理課との協力体制を構築する。<br>学習環境、(教室内の備品等)の確認を担当者に依頼し、必要に応じて随時交換を進める。<br>キャリア教育課・各学年と連携し、心視の時間を活用しながら生徒の学習意欲向上を目指す。<br>個人成績の通知や成績上位者の掲示を通して、生徒の自信や向上心を刺激し、自主的学習態度を育成する。   |        |          |
|   | 生徒の学習習慣定着に向けた指導の充実を図る。   | 年2回の生活時間調査を活用し、各学年と連携しながら、生徒個人が学習記録を自らの学習習慣改善に繋げられるように支援する。<br>毎日の生徒の出勤状況の統計比較や部活動生徒の成績等の情報共有化を図り、文武両道の実践を支援する。   |        |          |
| 教務部<br>企画広報課  | 本校のよき伝統を受け継ぎつつ、新たな第一歩を踏み出せるような式典や諸行事の企画・運営を行う。                                     | 式典・諸行事において、生徒の自主性や愛校心を育むような企画・運営を行う。卒業式における椅子の配置、式歌の歌唱方法の再検討を行う。<br>様々な災害に臨機応変に対応できるように、職員役割分担を徹底するとともに、生徒の防災意識を高めるような防災避難の企画・運営に努める。防災避難訓練当日(5/26木)雨天の場合の予備日(5/27金)へのシフトを確実にする。  |        |          |
|   | 学業・部活動・学校行事等をアピールし、本校の魅力を伝えるように努める。  | 「中学生の体験入学」(9/24土)では、全体説明会・中学生との交流会・部活動見学を3つの柱として、情報管理課とタイアップしながら企画し、実施する。本校生徒が主体的に行動して、中学生との交流を深められるような方法を検討する。当日参加不可の中学生や保護者のために「中学生学校見学会」(11/5土)を設定する。<br>本校の各種行事案内(中学生の体験入学・大運動会の中学生招待・春日の風等)を6月末までに本校職員が中学校に持参し、本校の魅力を伝えられるように努める。学校案内パンフレットに「卒業生・在校生の声」等を掲載し、より充実させる。「春日の風」は年3回発行する。<br>春日祭でのPTAと生徒会共催出店・展示については、情報交換を密にして充実を図る。 |        |          |
|   | PTAや同窓会と連携を深め、保護者や同窓生、地域の方々からの本校に寄せる期待を汲み取りつつ、両者の活動を全面的に支援し、本校発展に寄与する。             | PTA主催行事(PTA総会・講演会・視察研修・ぜんざい会)への出席率向上を目指して、全職員で支援し協力する。<br>クラス懇親会・学年懇親会・PTAとの忘年会に代わって、学校全体のPTA懇談会をPTA本部主催で体験入学実施日に実施する。  |        |          |
| 情報管理課   | 各業務に関連するICTについて環境整備を図る。  | 定期考査・外部模試・校内実力テスト等の成績処理について、マニュアルの明文化を進める。<br>マークシート読み取りソフトや外字作成ソフト等の利用を促進し、業務分担の軽減を図る。<br>事務室と密に連携を取り、1階教室を中心にネットワークの延長を進める。<br>企画広報課と協力し、迅速なメール配信やホームページの更新と閲覧の促進を図る。   |        |          |
|   | 教職員のICT技術向上を図る。  | ワード、エクセル等の主だったソフトウェアの使い方について、職員の要望に応じて助言を行う。<br>授業で使えるICT教材について、サーバーなどを通じての共有化を図る。  |        |          |
|   | 視聴覚教材の管理を徹底する。   | 電子黒板を含めた機材の貸し出しについて、管理担当者を決め、その機材の所在を常に明確にする。<br>使い方の難しい機材については、必要に応じて使用法のマニュアル化を図る。  |        |          |

|  |   |  |   |  |  |  |  |  |
|--|---|--|---|--|--|--|--|--|
| 生徒部  | 生徒指導課   | 生徒の主体的な活動の促進による、自主性と自己指導能力の育成。   | 様々な活動の中で「春日高校五常」を意識させるとともに、教師自らが率先垂範することにより、挨拶や時間厳守を励行し、自主・自律の姿勢及び態度を身につけさせる。 |  |  |  |  |  |
|  |   | 学校行事等を通して帰属意識やリーダーシップ、豊かな心を育む。   | 学校行事やホームルーム活動の充実・活性化を図るなかで、その目的や意義の理解のもと、企画・運営に取り組み、規範意識及び道徳心を育ませる。           |  |  |  |  |  |
|  |   |  | 学校生活全般をとおして、多様なものの見方・考え方への理解を深めさせ、他者への思いやりにあふれた「豊かな心」を養うとともに、明るい校風づくりに努める。    |  |  |  |  |  |
|  | 自他の安全を確保するための指導の充実及び継続。   | 学校行事等の企画・運営を生徒自身に行わせる等、自主的に取り組む意欲や創造する喜びを体験できるように工夫し、「自主・創造の精神」及び「たくましい心」を養う。                |   |  |  |  |  |  |
|  |   | 生徒会執行部と各専門委員会を機能的に連動させることで、生徒会活動の活性化を図るとともに、活動内容の広報を適宜行うことで帰属意識を高める。                         |   |  |  |  |  |  |
|  |   | 部活動の充実・活性化を図り、加入率85%以上を目指すとともに、「心」の指導を充実させることで、本校発展及び愛校心発揚の核となる生徒を育成する。                      |   |  |  |  |  |  |
| 保健課  | 保健指導を適切に行い、健康管理を積極的に行う姿勢を身につけさせる。   | 交通安全教育の工夫と充実を図り、交通マナーを向上させるとともに、非行防止・防犯教育・自己防衛教育(SDE)を諸機関と連携して計画的に実施し、自他の安全確保と自己防衛力を高める。     |   |  |  |  |  |  |
|  |   | 「学校生活アンケート」等の有効活用による積極的な生徒観察や関係分掌との緊密な連携をとおして、いじめ撲滅や生徒のつまずきへの早期対応等に努める                       |   |  |  |  |  |  |
|  |   | 生活全般において時間を意識した行動を行わせるとともに、全職員による下校指導をとおして、時間厳守への意識を高める。                                     |   |  |  |  |  |  |
|  | 掃除に対する啓蒙活動を充実させることにより、美化意識の高揚とエコ活動の推進を図り、環境美化に取り組む。                                       | 健康診断・日常の健康観察などをとおして、生徒が心身ともに健康的な生活が送れるように指   |   |  |  |  |  |  |
|  |   | 心身共に問題を抱えた生徒の情報を共有し、担任・学年と連携して対応に当たる。  |   |  |  |  |  |  |
|  |   | 学校行事・ホームルーム活動・生徒会活動・部活動において、健康管理や安全指導に関する保健・安全指導を適切に行う。                                      |   |  |  |  |  |  |
| 進路部  | 進路指導課   | 進路情報の共有化を推進するとともにデータ管理の簡素化と有効活用を図る。  | 健康診断・日常の健康観察などをとおして、生徒が心身ともに健康的な生活が送れるように指                                    |  |  |  |  |  |
|  |   | 必要に応じた進路資料の提供や、進路検討会等の企画・立案をし、教員の進路指導力の向上を図る。  | 心身共に問題を抱えた生徒の情報を共有し、担任・学年と連携して対応に当たる。   |  |  |  |  |  |
|  |   | 進路関係の文書・データ情報の、サーバーまたはファイルによる共有化と一元化を進める。  | 学校行事・ホームルーム活動・生徒会活動・部活動において、健康管理や安全指導に関する保健・安全指導を適切に行う。                       |  |  |  |  |  |
|  | キャリア教育課   | 進路関連の行事や課外・模試の充実により生徒の進学意識を高め、学力の向上を図るとともに、自主的に学習する態度を養う。                                    | 整美委員会の活性化と計画的な校内美化活動の推進を図る。   |  |  |  |  |  |
|  |   | 様々な活動を通して、進路意識や社会に対する関心を喚起し、進路決定に必要な能力や知識を習得し、適正な勤労観や職業観を育成する。特に、3年間を通した小論文指導の充実に向けた体制整備を図る。 | 安全点検を定期的に行い、安全で快適な学習環境を作る。  |  |  |  |  |  |
|  |   |  | 模試・学力テスト等における結果の分析・検討に必要な資料を効果的に提供する。   |  |  |  |  |  |
| 外部組織との連携による可能な活動を模索し、生徒のあり方生き方に対する考え方や進路意識を育む。           | 進路資料室の環境や資料の充実により、生徒による進路室の有効活用を推進する。   | グリーンスタッフ活動の充実を図り、環境に優しい学校づくりを目指す。  |   |  |  |  |  |  |
|  | 各学年において、模試等の結果分析会や進路検討会、進路HIR等の企画・立案を行うことで、学年における進路指導のリーダーシップをとり、学年の態勢を構築する。              | 進路説明会等の実施により、生徒と保護者に入試システム等についての情報提供をし、受験に対する意識向上を図る。  |   |  |  |  |  |  |
|  |   | 教務と連携し、教育課程や生徒の実態に応じた、また、生徒の自主的な学習を促す課外や土曜活用講座を実施する。放課後課外の新しい実施方法について検証・検討を重ねる。              |   |  |  |  |  |  |
|  | 学年にふさわしい講演会や講座を企画運営し、社会に対する意識や自己探求への意識の向上を図る。   | 課外、土曜活用講座の遅刻・欠席者について、各学年における指導態勢の構築と、受講率の向上を図る   |   |  |  |  |  |  |
|  |   | 校内模試・外部模試の実施内容・方法について検証・検討をし、生徒の学力把握、進学意欲・学習意欲の向上を図る。  |   |  |  |  |  |  |
|  | 大学のオープンキャンパスへの参加は日程の通知など組織的に運営し、近い将来の目標である進学先への関心を深め、進路意識を向上させる。                          | 進路資料室の環境や資料の充実により、生徒による進路室の有効活用を推進する。  |   |  |  |  |  |  |
| 各学年のキャリア計画が効果的な活動になるよう、各活動で反省記録を残し、生徒にとってよりよいものとなるようにする。 |   |  |   |  |  |  |  |  |
| 各部・各学年・教科との連携を強化する。                                      | 看護体験やジュニア学芸員など、外部での体験活動等に積極的に参加させることで、興味深い学問の世界や様々なものの見方、考え方に触れ、自己の在り方を深く考えさせ、進路意識を向上させる。 |  |   |  |  |  |  |  |
|  | 学年にふさわしい講演会や講座を企画運営し、社会に対する意識や自己探求への意識の向上を図る。   |  |   |  |  |  |  |  |
| 新設らめき委員会との連携を密にし、新設らめきアンケートから見える生徒の実態に即したキャリア教育を検討する。    | 大学のオープンキャンパスへの参加は日程の通知など組織的に運営し、近い将来の目標である進学先への関心を深め、進路意識を向上させる。                          |  |   |  |  |  |  |  |
|  | 各学年のキャリア計画が効果的な活動になるよう、各活動で反省記録を残し、生徒にとってよりよいものとなるようにする。                                  |  |   |  |  |  |  |  |

|     |     |   |  |  |  |  |
|-----|-----|---|--|--|--|--|
| 研修部 | 研修課 | 各分掌と連携して、本校教育の喫緊の課題に対応した職員研修の改善とその充実を図る。  | 学校教育活動のさらなる活性化と充実化を図るために、悉皆研修を効率よく実施するとともに、職員の指導力向上に資する職員研修を企画し実施する。   |  |  |  |
|     |     |   | 校外研修(教育センター・体育研究所等)の案内を適宜行い、外部事業との連携を図る。   |  |  |  |
|     |     | アクティブ・ラーニングを主題とする授業改善に全教科で取り組むとともに、授業評価アンケートの活用と相互授業参観をその改善の機会に積極的に生かすようにする。                | 授業評価アンケートの実施をとおして、学習指導の在り方を振り返り、自主性を伸長させる授業改善に活用する。  |  |  |  |
|     |     |   | 保護者に公開授業の実施を早期に周知徹底することで参加を促し、本校の教育活動への理解を深めてもらうとともに、アンケートをとおして本校の学習指導の諸課題を明確にする。  |  |  |  |
|     |     |   | 「相互授業参観」「研究授業」の場を利用して、アクティブ・ラーニングを主題にした授業研究を全教科で行うことで、生徒の自主性を向上させ、自尊感情を抱かせる学習指導の在り方を模索し、その指導方法を共有して真の学力形成を図る。  |  |  |  |
|     |     | 研究紀要の内容の改善と充実を図る。   | 職員研修の総括や教育活動の様々な実践報告、個人研究の発表の場とすることで、本校の教育水準を上げることに寄与する。   |  |  |  |
|     |     | 教育実習の改善と充実を図る。  | 教科指導員との連携や調整を図りながら、教育実習生の事前指導の内容の充実を図ることで、教育実習生に対して学校教育活動の様々な指導を経験させ、将来の教育界を担う有為な後継者を育成する一助とする。  |  |  |  |
|     | 図書課 | 生徒の学年に応じた読書を促進させ、情報を収集する能力を養わせるため、適切な選書を行い、図書館の利用を活性化させる。また、図書館報などの広報を充実し、生徒の図書貸し出し数を増加させる。 | <p>新入生へのオリエンテーションを行い、教員お奨めの本を紹介しながら読書に親しみを持たせ、図書館の利用を促進させる。</p> <p>各教科・分掌・部活動そして生徒の購入希望図書を掌握し、年4回行う選書委員会を有効に活用し、適切な選書行う。</p> <p>学級文庫を目的に沿ったものとし、生徒の読書活動を活性化し、豊かな感性を育てる。</p> <p>図書館報を充実させ、生徒の読書に対する意欲を喚起し、図書の貸し出し数を増やす。(年間貸し出し数3500、各クラス1年間で100冊以上)</p>             |  |  |  |
|     |     | 生徒や生徒図書委員に応じた図書館行事の在り方を検討し、生徒の能力を発揮させ、視野の広い責任感のある生徒を育てる。                                    | <p>図書委員を中心に読書会を実施し、読書に対する意欲を喚起するとともに、内容を深めて理解させる。</p> <p>春日祭や中学生の学校見学等の学校行事で、図書委員会の活動を校外にも周知させ、活性化させる。</p> <p>公共図書館の訪問、生徒図書委員会合同研修会参加や生徒図書委員会による図書購入を行い、図書館のよりよい運営について考えさせる。</p> <p>図書館の広報活動に積極的に生徒図書委員を参加させる。</p> <p>「多読」賞を新設し、より多くの生徒が達成感を感じられる内容になるように工夫する。</p> |  |  |  |
|     |     | 図書館の学校内での役割を考え、レファレンスの機能を果たす。   | <p>各教科・分掌と連携を図り、自学自習の場としての図書館の利用を促進する。</p> <p>各方面から情報を収集し、図書館の小論文関係の図書や京都ハイレベル研修の資料を充実させ、蔵書リストの周知を図る。</p> <p>購入した図書は迅速に貸し出しできるように、学校図書管理システム等を活用し、作業を進める。</p>  |  |  |  |
|     |     |   |  |  |  |  |
|     |     |   |  |  |  |  |